

(別添 4)

厚生労働行政推進調査事業費補助金

(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業の総合的推進に関する研究

(分担) 研究年度終了報告書

「新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業における動向把握や分析、本研究事業全体の体系的な課題整理等に関する研究」

研究分担者 石原朋子 国立感染症研究所 研究企画調整センター 第二室長

研究協力者 滝澤真理 国立感染症研究所 研究企画調整センター

情報管理専門官

研究要旨：

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめ、厚生労働省における新興・再興感染症対策等の行政ニーズに即した感染症に関して研究が進められている。COVID-19の感染拡大防止やウィズコロナに向けた諸課題に対する研究をより一層推進するためには、当該研究事業において蓄積される新型コロナウイルスに関する最新の研究動向や科学的知見等について、詳細かつ正確な研究内容ならびに進捗状況の把握・分析を行い、効率的な俯瞰に向けた課題整理の強化・拡充が必要である。また、感染症の危機管理においては、行政・国民ニーズに即した公衆衛生対策に係る感染症関連研究を戦略的に推進することが重要であり、COVID-19以外の新興・再興感染症関連研究も含め、本研究事業全体を横断的に俯瞰し体系的に整理する必要がある。本研究においては、研究課題の特徴をスムーズに把握するために、全研究課題（33課題）の各基本情報ならびに成果の概要をまとめた（最終成果概要反映版概要シート）。また、新興・再興感染症対策における各研究課題の位置づけを明確化するために、種々の対策における各研究課題の位置づけを明確化した事業マップを作成した。本研究成果によって、新興・再興感染症対策における各研究課題の位置づけが明確化されるとともに、本研究事業全体を俯瞰的に整理できたことから、厚生労働科学研究及びAMED研究の令和4年度公募案や令和5年度概算要求のための参考資料として効果的に活用する等、研究事業の推進及び政策等への還元が図れた。今後、他の政策研究や関連する研究事業との連携ならびに橋渡し等も考慮の上、事業成果を最大化し、持続的に発展する必要があると考える。

A. 研究目的

本研究課題では、新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究の未解決の、あるいは新たな課題に関する動向把握とアセスメントを行うと共に、新興・再興感染症及び予防

接種政策推進研究事業（以下、研究事業という。）において実施される研究課題について研究の進捗状況を把握し、これらの情報を共有・提供することにより研究事業の総合的推進を図っている。

当該研究事業では、新型コロナウイルス感染症をはじめ、厚生労働省における新興・再興感染症対策等の行政ニーズに即した感染症に関して研究が進められている。COVID-19 の感染拡大防止やウイズコロナに向けた諸課題に対する研究をより一層推進するためには、当該研究事業において蓄積される新型コロナウイルスに関する最新の研究動向や科学的知見等について、詳細かつ正確な研究内容ならびに進捗状況の把握・分析を行い、効率的な俯瞰に向けた課題整理の強化・拡充が必要である。また、感染症の危機管理においては、行政・国民ニーズに即した公衆衛生対策に係る感染症関連研究を戦略的に推進することが重要であり、そのためには COVID-19 以外の新興・再興感染症関連研究も含め、本研究事業全体を横断的に俯瞰し体系的に整理する必要がある。

そこで、本研究では、本研究事業の戦略的かつ総合的な推進を図るため、研究事業において実施される研究内容の詳細な動向把握や分析をし、本研究事業全体の体系的な課題整理等をより一層強化・拡充させることを目的とする。

B. 研究方法

1. 研究事業の研究課題に関して、対応する感染症対策フェーズや研究領域の分類等、研究課題の基本情報に加え、各研究課題が解決を目指す課題、研究実施の短期的・長期的な意義等を整理し、研究課題の特徴をスムーズに把握する。
2. また、新興・再興感染症対策における各

研究課題の位置づけを明確化することにより、本研究事業全体を俯瞰・体系的整理するとともに、可視化する。

3. COVID-19 感染収束に向けて研究が進められている中、それらの研究の一層の推進のためにも速やかにこれらの課題を整理し、本研究事業の関係者等と情報共有及び連携することにより、研究事業の推進及び政策等への還元を図る。

C. 研究結果

1. 全研究課題（33 課題）の各基本情報ならびに成果発表会資料、最終成果概要をもとに、最終成果概要反映版概要シート（別紙 1）を作成した。最終成果概要反映版概要シートの構成は以下のとおりとした。

- 研究課題の基本情報（1 課題あたりスライド 1 枚程度、項目：研究の事業予定期間、研究の背景・意義、研究の目的、研究方法、期待される効果）
- 主な研究成果（1 課題あたりスライド 1 枚程度、項目：実施した期間の主な研究成果）
- 各研究課題が解決を目指す課題、研究実施の短期的・長期的な意義等（1 課題あたりスライド 1 枚程度、項目：行政施策への貢献、今後考えられる新たな課題）

2. 新興・再興感染症対策における各研究課題の位置づけを明確化した事業マップを作成した（別紙 1）。事業マップは、令和 3 年度研究事業実施方針（厚生労

働科学研究) (第 115 回厚生科学審議会
科学技術部会 (令和 2 年 5 月 7 日) 資
料 2 - 1、 URL :
<https://www.mhlw.go.jp/content/10600000/000640262.pdf>) を参考に、以下
の分類によりマッピングした

● 分類 (研究スコープ) : 縦軸

- ① 感染症に関する危機管理機能の強化に資する研究
- ② 感染症法に基づく特定感染症予防指針の策定・改定及び感染症対策の総合的な推進に資する研究
- ③ 感染症サーベイランス機能の強化に資する研究
- ④ ワクチンの評価に資する研究
- ⑤ 予防接種施策の推進に資する研究
- ⑥ 感染症指定医療機関等における感染症患者に対する医療体制の確保及び質の向上に資する研究
- ⑦ AMR 対策に資する研究

● 分類 (期待されるアウトプット) : 横軸

- 新型コロナウイルス感染症に関して、「・新型コロナウイルス感染症に関して、「COVID -19 診療の手引き」の改定、発生動向分析環境中ガイドラン策等
- 「性感染症に関する特定予防指針」の改必要なデータ等収集・「性感染症に関する特定予防指針」の改必要なデータ等収

集

- 予防接種法施策及びワクチンの評価に資するデータ等収集
- 「抗菌薬・「抗菌薬 適正使用推進 モデル事業」の評価、分析に資するデータ等収集
- その他

3. 最終成果概要反映版概要シートならびに事業マップは、厚生労働省所管部署等と共有した。尚、最終成果概要反映版概要シートのうち、「研究課題の基本情報」は本研究事業開始後速やかに作成し共有した。また、最終成果概要反映版概要シートについては、成果発表会后、発表資料および参考資料を元に、速やかに暫定版を作成し共有した。

D. 考察

本研究において、新興・再興感染症対策における各研究課題の位置づけが明確となるとともに、当該研究事業で対応する感染症対策フェーズや研究領域の分類等をより効率的に俯瞰することができた。また、本研究事業の関係者間における把握・分析がより迅速となり、各研究課題が解決を目指す課題や、研究実施の短期的・長期的な意義等を整理することが可能となった。加えて、厚生労働省所管部署等へ情報共有された最終成果概要反映版概要シートならびに事業マップについては、厚生労働科学研究及びAMED研究の令和4年度公募案や令和5年度概算要求のための参考資料として効果的に活用された。

E. 結論

感染症の危機管理においては、行政・国民ニーズに即した公衆衛生対策に係る感染症関連研究を戦略的に推進することが重要である。本研究によって、新興・再興感染症対策における各研究課題の位置づけが明確化されるとともに、本研究事業全体を俯瞰的に整理できたことから、研究事業の推進及び政策等への還元が図れた。今後、他の政策研究や関連する研究事業との連携ならびに橋渡し等も考慮の上、事業成果を最大化し、持続的に発展する必要があると考える。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし